

塚田 裕 (つかだひろし)

中川村飯沼の棚田では地元の造り酒屋の酒米が作られています。その8ヘクタール全部のワラを使う今展のインスタレーションは、壮大なプロジェクトです。中川西小5年生が植えた稲のワラも使わせてもらえることになりました。一年という時間の中で米を育てる大勢の人々がいてこそ、成り立つ作品です。

ありふれた日々の、あたりまえのようにある物や物事は中川村のおおらかで親切な人々の気持ちや、植物が成長するサイクルの小さな奇跡の連続のようです。軽トラ 25 台分に及ぶ大量のワラは、この日常の先にあるものです。

戦争の危機がある今だからこそ、僕個人の思惑を超えて平和でなければ存在しえない、そんな意味を持つ彫刻となれば良いと思っています。

(塚田)

1966 年、長野県生まれ。和光大学人文学部芸術学科油彩専攻卒業。2003～08 年、眞板雅文 (1944—2009) のアシスタントを務める。05 年、個展 (みゆき画廊 / 東京)、07、09、11 年、シュライニング国際音楽祭 (オーストリア) 招聘展示。09～17 年、山中湖国際音楽祭 (山梨) 招聘展示。11～19 年、個展 (画廊るたん / 東京、松本市美術館市民ギャラリー、Gallery Amano / 山梨)。20 年、シンビズム3 出展 (茅野市美術館)。21 年、個展・INSIDE/OUTSIDE (原村八ヶ岳美術館 / 長野)。



塚田 裕 《sky cloud》2020 年
茅野市民館東広場 photo 飯嶋昌之